

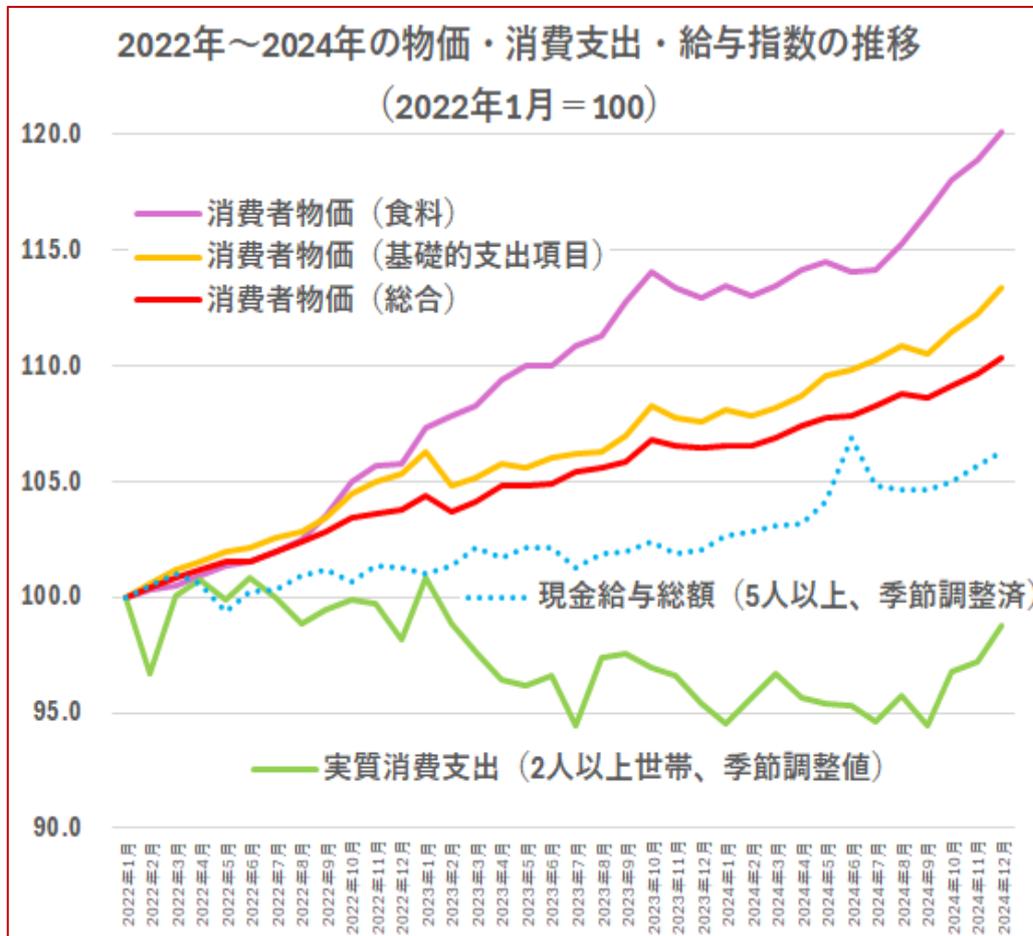
5月に参議院へ署名提出します

2025. 3. 26

この3年間で、消費者物価（総合）が1割以上あがっています。

特に食料が2割も高くなるなど、基礎的支出項目（必需品的なもの）がより高くなっているため、私たち庶民のくらしが苦しめられています。

給与が増えてはいますが、物価高に追いついていません。消費支出は低迷し、くらしは一向に良くなりません。



5月16日(金)までに署名集約を

収入がある人もない人も、みんなのくらしを底上げするためには、消費税率を引き下げ、物価全体を押し下げることが最も効果的です。

その声を署名に託して、国会に届けましょう。

今年は、5月に国会議員会館を訪問し、関西エリア選出の参議院議員を中心に要請行動を行い、消費税率引き下げ署名を提出する予定です。

各団体でも、同封の署名用紙を活用いただき、5月16日(金)までに事務局（大阪消団連）へ、署名を届けてください。

なんば
署名宣伝行動

3月は雨天中止しました

■1989年に消費税が導入された4月1日は、消費税をなくす大阪の会・消費税廃止大阪連絡会と共同で行います。(12:00～13:00)

参議院議員に署名紹介の要望書を送付しました

5月の署名提出のために、25名の参議院議員（関西エリア選出議員ほか）に以下の要望書を送付しました。

消費税率引き下げへご理解・ご尽力をお願いする要望書

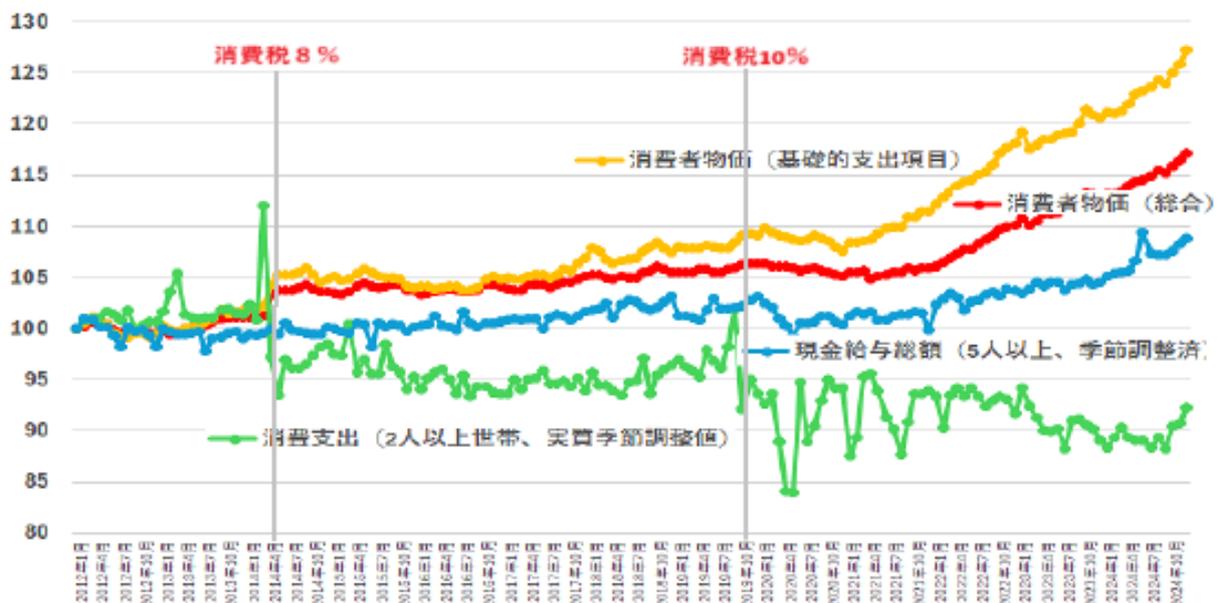
議員におかれましては、日頃より消費者、国民のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

私たちは、消費税が実施された1989年4月1日に結成し、関西エリアで消費税率の引き下げに取り組む連絡会です。

物価高騰の今、消費税を引き下げ、くらしと営業を守ってください。

- 消費税8%への増税以降、賃金が上がらない中で、家計は毎月の消費税負担に苦しみ、消費支出は減少しています。この間の急激な物価上昇で消費税負担は更に増えていきます。逆進性の強い消費税が最も税収の多い税金となり、格差と貧困が広がっています。
- 消費が低迷する中、取引上の力の弱い事業者は、増税分の価格転嫁ができずに苦しんでいます。インボイス制度の導入で厳しさが増えています。

2012年～2024年 物価・消費支出・賃金指数の推移（2012年1月＝100）



つきましては、以下の要望に、議員のご理解とご尽力を賜りたく、お願い申し上げます。ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

私たちが取り組む「消費税率の引き下げを求める国会請願署名」の紹介議員をお引き受けください。

2025年3月25日
消費税の増税に反対する関西連絡会